

エコアクション21  
環境経営レポート



期間：第 51 期（令和 6年 6月 ～ 令和 7年 5月）



株式会社 豊田ガーデン

作成日： 令和 7年 11月30日

## 環境経営レポート 目次

	頁
1 組織の概要	1
2 対象範囲（認証・登録範囲と実施体制）	2
3 環境経営方針	3
4 環境経営目標	4
5 環境経営計画及び実施状況	5
6 環境経営目標の実績	6
7.1 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7
7.2 次年度以降の環境経営目標（短期・中期）	8
8 環境関連法規等の遵守状況確認と評価の結果並びに違反、訴訟の有無	9
9 代表者による全体評価と見直しの結果	10

## 1 組織の概要

### (1) 事業所及び代表者名

株式会社 豊田ガーデン

代表取締役 天野 勝美

### (2) 所在地

〒471-0834

愛知県豊田市寿町4-54

### (3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 天野洋平

連絡先 TEL 0565-28-2601

FAX 0565-27-0816

E-mail info@kayutei.co.jp

### (4) 事業内容（対象範囲の活動）

造園工事、エクステリア工事、フラワーガーデン工事及び維持管理作業

ガーデニングショップ、グリーンリース

### (5) 許可番号

造園工事業 愛知県知事 許可（特-5）第14145号

有効期限 令和10年10月17日

### (6) 事業規模

売上高 582百万円（第51期：令和6年）

従業員数 48名

事業所面積 1,091 m<sup>2</sup>

### (7) 資本金・設立年月日

資本金 2,000万円

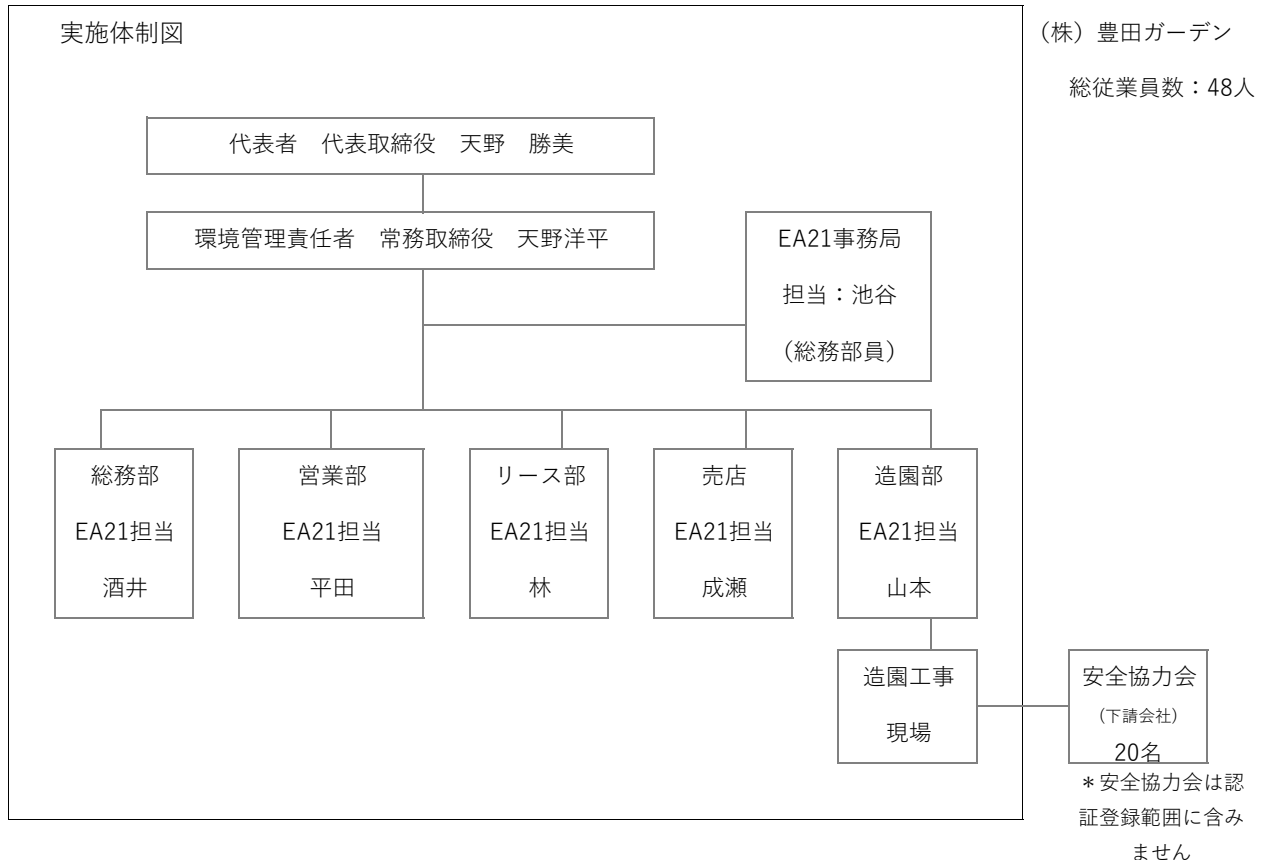
会社設立 昭和49年6月

## 2 対象範囲（認証・登録範囲と実施体制）

以下の活動を・組織を対象とし実施します。

造園工事、エクステリア工事、フラワーガーデン工事及び維持管理作業

ガーデニングショップ、グリーンリース



### 役割・責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	代表者 天野勝美	環境方針の作成、環境管理責任者の任命、資源（人員・設備・費用等）の準備。代表者による全体の評価と見直し。環境経営レポートの承認・発行
環境管理責任者	常務取締役 天野洋平	代表者に代わり、環境経営システムを構築・運用・維持し、その状況を代表者に報告する。内部・外部からの苦情などの受付と必要な対応及び結果の記録、環境経営レポートの作成。
EA21事務局	総務部員 池谷	環境関連文書及び記録の素案作成・管理など、環境管理責任者の補佐
EA21担当	総務部員 酒井	EA21取組実施、実施状況確認・記録・事務局への提出
	営業部員 平田	
	リース部員 林	
	売店 成瀬	
	造園部員 山本	

### 3 環境経営方針

#### 環境理念

当社は、造園建設業としての事業活動において、常に環境保全を意識し、自然環境への影響に配慮しながら業務を行うことが重要であると認識しています。環境経営システムの構築・運用及び維持を行うことにより、環境保全活動を自主的・積極的に推進します。

植物を用いた環境づくりから、持続可能な都市及び人間居住を実現します。

#### 行動指針

(1)当社に適用される法規制、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

(2)次の事項について、具体的な環境目標・環境活動計画を定め実施します。

①省エネルギーに取り組み二酸化炭素の排出量を削減します。

②分別の徹底・リサイクルの推進に努め、廃棄物排出量を削減します。

③節水に努め、総排水量の削減します。

④グリーン購入を推進します。

⑤社会貢献活動を積極的に行います。

⑥環境に配慮した設計・工事に努めます。

⑦化学物質の適正管理に努めます。

⑧整理・整頓を徹底します。

(3) 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的改善を進めます。

制定日 平成21年10月26日

改訂日 平成27年 7月10日

株式会社 豊田ガーデン

代表取締役 天野 勝美

社長	環境管理責任者
天野勝美	天野洋平

## 4 環境経営目標（第51期：令和 6年 6月 ～令和 7年 5月）

平成29年6月～令和1年5月の実績値をベースとする新基準と令和6年6月～令和7年5月までの目標を設定。なお次年度以降の新目標は7.2項に記載する。

環境方針	取組対象				新基準	今年度の目標			
	取組区分	管理場所	管理項目	単位		令和 6年 6月	～ 令和 7年 5月		
① 二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素総排出量（全社）*				kg-CO2	105,000.0	104,475.0	基準比0.5%以上の減少	
	電力使用量	事務所	電気	kWh	82,000.0	81,590.0	基準比0.5%以上の減少		
	化石燃料使用量	現場	ガソリン	L	17,000.0	16,915.0	基準比0.5%以上の減少		
			軽油	L	12,000.0	11,940.0	基準比0.5%以上の減少		
		事務所	重油	L	0.0	0.0	基準比0.5%以上の減少		
			灯油	L	380.0	378.1	基準比0.5%以上の減少		
LPG	kg	54.0	53.7	基準比0.5%以上の減少					
② 廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量	現場	再生利用	木くず	t	400.0	実績値は把握するが、その値はその年の事業の内容次第であり、数値目標値は定められないが、廃棄物の再利用の促進に向け、適切な分別作業を実施し、再資源化率を向上させる。		
				コンクリートがら	t	190.0			
				金属くず	t	1.0			
			単純償却	木くず	t	50.0			
				可燃ごみ	t	5.0			
				廃プラ	t	25.0			
		廃棄物排出量		t	671.0				
		事務所	再生利用	紙くず	t	9.0		9.0	基準比0.5%以上の減少
			廃棄物排出量		t	9.0		9.0	基準比0.5%以上の減少
		廃棄物排出量合計				t		680.0	-
③総排水量の削減	水使用量	事務所	事務所・売店・温室 水使用量	m3	1,800.0	1,791.0	基準比0.5%以上の減少		
④グリーン購入の推進	購入件数	事務所	事務用品購入件数	件	100件以上	100件以上	基準継続		
⑤社会貢献活動の実施	実施回数	事務所	社内及び周辺の清掃回数	回	12回/年 (月1回の実施)	同左	基準継続		
⑥環境配慮設計・工法	件数	事務所	リサイクル資材を用いた設計件数	件	月1件の実施	同左	基準継続		
⑦化学物質の適正管理	薬剤使用量確認	事務所	薬剤の使用量の確認	確認	薬剤使用時の使用量の把握と適正管理	同左	基準継続		

\* 購入電力の排出係数は中部電力の2023年度実排出係数0.439kg-CO2/kWhを使用する。

二酸化炭素総排出量の目標値は電力使用量と化石燃料使用量の個々の削減量の合算値とする。

社長	環境管理責任者
天野勝美	天野洋平

## 5 環境経営計画及び実施状況

環境方針	第 51 期 (令和 6年 6月 ~ 令和 7年 5月)				スケジュール				総合評価	
	目標	取組事項	点検方法	担当部署	6月~8月	9月~11月	12月~3月	3月~6月		
①二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 基準比0.5%以上の削減	1.冷暖房の設定温度管理の実施	点検票 1	総務・営業・造園	実施⇒	評価見直	評価見直		△	
		△ △ △			△ △ △	△ △ △	△ △ △			
		2.冷暖房機のフィルター清掃の実施			清掃	清掃	清掃	清掃	○	
		- - ×			- - △	△ - ○	○ ○ ○			
	3.使用時以外の場所の消灯の徹底	点検票 1	総務・営業・造園	実施⇒					△	
	△ △ △			△ △ △	△ △ △	△ △ △				
	4.残業・昼休・退社時の消灯の徹底				実施⇒					△
	- - -			- - △	△ △ △	△ - -				
化石燃料使用量の削減 現場：基準比0.5%以上 事務所：基準比0.5%以上の削減	1.ガソリン・軽油使用量の削減・エコドライブ、エコ運転操作の徹底	点検票 2	営業・造園・リース	実施⇒				○		
	△ △ △	△ △ △	○ ○ ○	○ ○ ○						
2.ストーブ、ボイラーの未使用場所の停止・設定温度の適性化	点検票 1	総務・営業・造園・リース		実施⇒				△		
- - -	- - △	△ △ △	△ - -							
②廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量0.5%以上削減	1.紙使用量の削減再生利用	仕分け表示	総務・造園	実施⇒				○	
		○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○					
		2.一般ごみの削減	仕分け表示	総務・造園	実施⇒				○	
○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○							
3.産業廃棄物の適正処理を徹底し削減を図る	契約書・許可書	総務・造園	実施⇒					○		
○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○							
③総排水量の削減	水使用量5%以上削減	1.最小限の利用と使用後の蛇口を完全に締める	-	総務・売店	実施⇒				○	
		○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○					
2.水道配管の漏水を定期的に点検する	-	総務・売店	実施⇒					○		
○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○							
④グリーン購入の推進	グリーン購入件数20件以上	1.事務用品のグリーン購入を推進する	-	全部署	実施⇒				○	
					○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		
⑤社会貢献活動の実施	社会貢献の実施回数 月1件の実施	1.社内及び周辺の清掃を実施する	-	全部署	実施⇒				○	
					○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		
⑥環境配慮設計・工法	環境配慮設計件数 月1回の実施	1.リサイクル資材を用いた設計をする	-	営業	実施⇒				○	
					○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		
⑦化学物質の適正管理	薬剤使用料確認 薬品使用量把握	1.農薬管理書に使用内容・量を記録する	農薬管理書	営業	実施⇒				○	
					○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		

○：実施できた      △：一部未実施      ×：ほとんど未実施

社長	環境管理責任者
天野勝美	天野洋平

## 6 環境経営目標に対する実績と評価

環境方針	取組対象				今年度の目標		今年度の実績		評価とコメント	
	取組区分	管理場所	管理項目	単位	令和 6年 6月	～ 令和 7年 5月				
① 二酸化炭素 排出量の削減	二酸化炭素総排出量（全社）*				kg-CO2	104,475.0		110,094.9	軽油とLPGの前年比の使用量が減少したが、他は使用量が増加した。重油は廃止した。二酸化炭素総排出量は減少した。事務所で使用する電力使用量の増加について、対策を打つ必要がある。	
	電力使用量	事務所	電気	kWh	81,590.0		80,116.0			
	化石燃料 使用量	現場	ガソリン	L	16,915.0		17,011.0			
			軽油	L	11,940.0		13,365.0			
		事務所	重油	L	0.0		0.0			
			灯油	L	378.1		340.0			
LPG	kg	53.7		43.4						
② 廃棄物排出 量の削減	廃棄物 排出量	現場	再生 利用	木くず	t	(400.0)		307.6	廃棄物排出量が増加したものの、現場作業量による増加であり、適正管理がされていることから問題はない。	
				コンクリートがら	t	(190.0)		81.9		
				金属くず	t	(1.0)		2.4		
			単純 償却	木くず	t	(50.0)		91.3		
				可燃ごみ	t	(5.0)		52.2		
				廃プラ	t	(25.0)		39.2		
		廃棄物排出量				t	(671.0)			574.6
		事務所	再生 利用	紙くず	t	9.0		7.7		
				廃棄物排出量	t	9.0		7.7		
		廃棄物排出量合計				t	680.0			582.3
③総排水 量の削減	水使用量	事務所	事務所・売 店・温室 水 使用量	m <sup>3</sup>	1,782.0		1,388.0	水使用量が増加したものの、植物の灌水管理による増加であり、適正管理がされていることから問題はない。		
④グリー ン購入の 推進	購入件数	事務所	事務用品購入 件数	件	100件以上		152.0			
⑤社会貢 献活動の 実施	実施回数	事務所	社内及び周辺 の清掃回数	回	12回/年 (月1回の実施)		12.0			
⑥環境配 慮設計・ 工法	件数	事務所	リサイクル資 材を用いた設 計件数	件	月1件の実施		16.0			
⑦化学物 質の適正 管理	薬剤使用 量確認	事務所	薬剤の使用量 の確認	確認	薬剤使用時の使用量 の把握と適正管理		確認実施			

\* 購入電力の排出係数は中部電力の平成29年度実排出係数0.476kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用する。

二酸化炭素総排出量の目標値は電力使用量と化石燃料使用量の個々の削減量の合算値とする。

社長	環境管理責任者
天野勝美	天野洋平

## 7.1 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

総合評価 ○：実施できた △：一部未実施 ×：ほとんど未実施 次年度の環境経営目標値は次の7.2に示す。

環境方針	第 51 期 (令和 6年 6月 ~ 令和 7年 5月)		担当部署	総合評価	今年度の評価コメント ~次年度の取組内容		
	目標	取組内容					
①二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	1.冷暖房の設定温度管理の実施	総務・営業・造園	△	一部未実施の取組もあるが、チェック表を用いて徹底を図っていく。		
		2.冷暖房機のフィルター清掃の実施		○			2.冷暖房機のフィルター清掃の実施
		3.使用時以外の場所の消灯の徹底		△			3.使用時以外の場所の消灯の徹底
		4.残業・昼休・退社時の消灯の徹底		△			4.残業・昼休・退社時の消灯の徹底
	化石燃料適正管理	1.ガソリン・軽油使用量の削減・エコドライブ、エコ運転操作の徹底	営業・造園・リース	○	取組は実施できている。継続する。	1.ガソリン・軽油使用量の削減・エコドライブ、エコ運転操作の徹底	
		2.ストーブの未使用場所の停止・設定温度の適性化	総務・営業・造園・リース	△	気温低下により燃料を消費。取組はできている。継続する。	2.ストーブの未使用場所の停止・設定温度の適性化	
②廃棄物排出量の削減	廃棄物適正管理	1.紙使用量の削減再生利用	総務・造園	○	取組は実施できている。取組を継続する。	1.紙使用量の削減再生利用	
		2.一般ごみの削減	総務・造園	○		2.一般ごみの削減	
		3.産業廃棄物の適正処理を徹底し削減を図る	総務・造園	○		3.産業廃棄物の適正処理を徹底し削減を図る	
③総排水量の削減	水使用量適正管理	1.最小限の利用と使用後の蛇口を完全に締める	総務・売店	○	取組は実施できている。取組を継続する。	1.最小限の利用と使用後の蛇口を完全に締める	
		2.水道配管の漏水を定期的に点検する	総務・売店	○		2.水道配管の漏水を定期的に点検する	
④グリーン購入の推進	グリーン購入件数20件以上	1.事務用品のグリーン購入を推進する	全部署	○	グリーン購入ができた。取組を継続する。	1.事務用品のグリーン購入を推進する	
⑤社会貢献活動の実施	社会貢献の実施回数 月1件の実施	1.社内及び周辺の清掃を実施する	全部署	○	取組は実施できている。取組を継続する。	1.社内及び周辺の清掃を実施する	
⑥環境配慮設計・工法	環境配慮設計件数 月1回の実施	1.リサイクル資材を用いた設計をする	営業	○	リサイクル資材の使用ができた。取組を継続する。	1.リサイクル資材を用いた設計をする	
⑦化学物質の適正管理	薬剤使用料確認 薬品使用量把握	1.農薬管理書に使用内容・量を記録する	営業	○	取組は実施できている。取組を継続する。	1.農薬管理書に使用内容・量を記録する	

社長	環境管理者
天野勝美	天野洋平

## 7.2 次年度以降の環境経営目標（短期・中期）

直近2021年度－2023年度の実績値をベースに新たに基準を定め、2027年度までの中期目標を設定。各年度は6月～5月とする。

環境方針	取組対象				新基準	短期目標(-0.5%)				
	取組区分	管理場所	管理項目	単位		51期/2024年度	52期/2025年度	53期/2026年度	54期/2027年度	
① 二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素総排出量（全社）				kg-CO2	105,000.0	104,475.0	103,950.0	103,425.0	102,900.0
	電力使用量	事務所	電気	kWh	82,000.0	81,590.0	81,180.0	80,770.0	80,360.0	
	化石燃料使用量	現場	ガソリン	L	17,000.0	16,915.0	16,830.0	16,745.0	16,660.0	
			軽油	L	12,000.0	11,940.0	11,880.0	11,820.0	11,760.0	
		事務所	重油	L	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			灯油	L	380.0	378.1	376.2	374.3	372.4	
LPG	kg	54.0	53.7	53.5	53.2	52.9				
② 廃棄物排出量の適正管理	現場	再生利用	木くず	t	400.0	実績値は把握するが、その値はその年の事業の内容次第であり、数値目標値は定められないが、廃棄物の再利用の促進に向け、適切な分別作業を実施し、再資源化率を向上させる。				
			コンクリートがら	t	190.0					
			金属くず	t	1.0					
		単純償却	木くず	t	50.0					
			可燃ごみ	t	5.0					
		廃プラ	t	25.0						
		廃棄物排出量	t	671.0						
	事務所	再生利用	紙くず	t	9.0	9.0	8.9	8.9	8.8	
		廃棄物排出量	t	9.0	9.0	8.9	8.9	8.8		
	廃棄物排出量合計				t	680.0	—			
③総排水量の適正管理	水使用量	事務所	事務所・売店・温室水使用量	m <sup>3</sup>	1,800.0	1,791.0	1,782.0	1,773.0	1,764.0	
④グリーン購入の推進	購入件数	事務所	事務用品購入件数	件	100件以上	100件以上	100件以上			
⑤社会貢献活動の実施	実施回数	事務所	社内及び周辺の清掃回数	回	12回/年	月1回の実施	月1回の実施			
⑥環境配慮設計・工法	件数	事務所	リサイクル資材を用いた設計件数	件	月1件の実施	月1件の実施	月1件の実施			
⑦化学物質の適正管理	薬剤使用量確認	事務所	薬剤の使用量の確認	確認	薬剤使用時の使用量の把握と適正管理	薬剤使用時の使用量の把握と適正管理	薬剤使用時の使用量の把握と適正管理			

購入電力の排出係数は中部電力の2023年度実排出係数0.439kg-CO2/kWhを使用する。

作成日：令和 7年 11月 30日

社長	環境管理責任者
天野勝美	天野洋平

## 8 環境関連法規等の遵守状況及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無

適用される法規制と遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	・ 廃棄物保管場所の掲示板の設置	○
	・ 処分委託契約の締結と委託先の現地確認	○
	・ 処分委託契約業者の許可書の有効期限の確認	○
	・ マニフェストの交付・照合・保管・交付状況報告	○
家電リサイクル法	・ 家庭電化製品の資源の有効利用（長期間利用）」	該当なし
	・ 対象：テレビ、冷蔵庫（他は無し）	
	・ 対象物の廃棄実績なし	
建設リサイクル法	・ 建設廃棄物のリサイクル促進	○
資源有効利用促進法	・ 指定再資源化商品（PC）	○
	・ なるべく長期間使用	
	・ メーカーへの引渡し	
騒音規制法	・ 対象特定建設作業実施届出、規制値の遵守	○
振動規制法	・ 対象特定建設作業実施届出、規制値の遵守	○
自動車リサイクル法	・ 使用済み自動車の引取業者引渡し	○
	・ 新車購入時のリサイクル費用負担	○
毒物及び劇物取締法	・ 保管場所を決め数量、使用年月日表記	○
自動車No x P M法	・ 業務用車 10 台以上保有	○
消防法	・ 消火器の設置	○
	・ 危険物の適性保管	○
フロン排出抑制法	・ エアコン簡易点検の実施と記録	○
	・ 廃棄時に適切な引渡し	該当なし
労働安全衛生法	・ 化学物質の管理、貯蔵または取り扱い上の注意	○
	・ SDSを掲示し、周知、遵守	○

環境関連法規への違反、訴訟はありません。

また過去 3 年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

## 9 代表者による全体評価と見直しの結果

今期の活動結果に対する環境管理責任者のコメント	
1.環境目標とその達成状況  (達成した場合は設定に問題がなかったか、次年度の目標設定について、未達成の場合は原因と次年度の目標や対応策について記載する)  コメント： 新基準は、業務量の変動を含めても適正な数値として機能している。水使用量の増加について、次期の達成状況により基準値の補正を検討する。	
2.環境活動計画の実施状況（取組に問題がなかったか、次年度の取組について記載）  コメント：電気の消灯など十分でない点について、点検票を活用して徹底する。	
3.環境関連法規の見直し、遵守状況  コメント：適正	
4.審査結果情報  コメント：審査未実施	
5.外部からの苦情等の受付結果  コメント：特になし	
代表者による変更の必要性の判断・指示	
評価結果	
1.環境経営システム	有効に機能している (○)
2.環境への取組	適切である (○)
変更判断・指示	
1.環境方針の変更	無
2.環境目標の変更	無
3.活動計画の変更	無
4.環境経営システムの変更	無
環境管理責任者への指示  新基準による運用を継続する。	